



玉垣小学校だより

令和5年6月2日（金）学校通信 第5号

「**学校運営協議会**」って、**ご存じですか** 5/18(木)

先日、本年度第1回の学校運営協議会が本校図書室で行われました。

学校運営協議会制度（鈴鹿型コミュニティ・スクール）とは、学校と保護者と地域の皆さん

が「どんな子どもを育てていくのか」、「どんな学校、地域にしていけるのか」を共に考え、知恵を出し合い、めざしたい子どもや地域の姿を共有し、協働しながら「地域とともにある学校づくり」を進める仕組みです。

玉垣小学校にも学校運営協議会があります。参加者は、学校代表以外に保護者の代表の方々、地域の自治会長や主任児童委員の方々等、約10名ほどです。（委員長は西玉垣町自治会長の城ノ口和幸様です。）

この会議は年間6回行われます。毎回子どもの姿や学校の実態に基づいて協議をしていきます。話し合われた中身については、「学校だより」等で毎回お知らせしていきます。

このように学校運営協議会は、より良い学校づくりに向けて、保護者の方や地域の方の声を学校教育に反映させる場として、委員の皆さんによる活発な協議をこれからも実施していきます。

第1回会議の主なご意見等です

(1) 令和5年度学校経営方針について

Q 教師の仕事が増えていると聞いたが、具体的にどんな仕事が増えているのか。

A 外国語、総合等、かつてはなかった教科等の時間が新設され、それに向けて準備や打ち合わせの時間などが増えている。また、全児童にパソコンが配布されているが、教育のICT化に向けての研修や諸準備等に費やす時間も増えてきている。さらに保護者との電話対応や家庭訪問などに要する時間なども、昔と比較して増加している。

Q 年間を通して、長期欠席児童が多いと感じる。様々な業務の影響で、先生たちが子どもたちと接する時間が少なくなっていることはないか。少しでも人員を増やしてもらえよう、要望してはどうか。

A 子どもとの日々の関係づくりやトラブルがあった際の対応は重要と考えているので、

先生たちも子どもたちとの対応の時間はしっかり確保して丁寧な対応ができるように心がけているところだ。

Q SLSとは何か

A スクール・ライフ・サポーターの略。不登校傾向の児童宅に家庭訪問などもしながら、不登校傾向のある児童への支援業務に従事してもらっている。

- ・長期欠席児童の対応を学校の先生たちにすべて任せるのはおかしいのではないか。
- ・新聞紙上で先生の不祥事も話題になることがある。こういった事件があると、他の真面目に努めている先生たちも、一括りに見られてしまう傾向があるのではないか。

・令和5年度学校経営方針について【承認】→学校ホームページをご覧ください。

(2) 学校関係者評価の目標部分、学校配当予算、年間行事予定について

Q 教室へ入りづらい子の「一時的な居場所」とはどこをさしているのか。

A 保健室のときもあるが、怪我や病気の児童への対応があるので、難しい場合もある。

現在は、校長室の後ろのスペースを活用している。ただし、校長室も来客対応中の場合は、使用できないときもある。

Q 引き渡し訓練や交通安全教室は、もう少し早い時期に実施すべきではないか。

A 交通安全教室は講師を招聘するため、講師の日程調整もあり学校単独で決めることができない事情がある。引き渡し訓練については、実施時期を検討していきたい。

Q 卒業式の日時はまだ決まっていないのか。

A まだ決まっていない。2学期半ば頃、教育委員会より連絡がくる予定となっている。

- ・運動会については、昨年度の分散形式は保護者が参観しやすくよかった、という意見もあれば、全校そろっての実施にしてほしいなど様々な意見があるようだ。

(3) その他

Q 柳方面へ下校する子たちの下校時が心配なのだが、青パトの巡回の様子はどうか。

A 所々で地域のみまもり隊の方々が、下校の様子を見守ってくださっているのありがたい。また、週1回は必ず教育委員会主導による青パトが巡回している。今後、まちづくり協議会による青パトも巡回していただくとさらにありがたい。

- ・今後北勢バイパスが開通する予定だが、そのことにより車の流れが変わる可能性がある。今後注視していく必要がある。

※ 学校経営方針、学校関係者評価、学校配当予算、年間行事予定等は玉垣小学校ホームページでも公開していますので、ぜひご覧ください。